marantz®

CD Receiver

M-CR502

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警　告

電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 本機の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落し込んだり、水を入れないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本機の下敷になならないようにしてください。電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず,重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしないでください。コードが破損して,火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- 本機に付属している電源コードのみ使用してください。他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。電流容量などの違いにより火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場や窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

警　告

● 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。電源周波数は50Hz 地域または60Hz 地域でご使用できます。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

● 本機の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
- 本機の上に物を置く。

● 本機の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● エアコンの下に置かないでください。エアコンから水滴が滴下した場合、汚損・故障・火災・感電の原因となります。

分解禁止

● 本機の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注　意

● オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。

● 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。
万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所や湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所や振動のある所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 次のような異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

- 窓を閉めきった自動車の中
- 直射日光が当たる場所
- 火や暖房器具など熱を発生する機器の近く

● 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● 本機の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

● 5 年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。

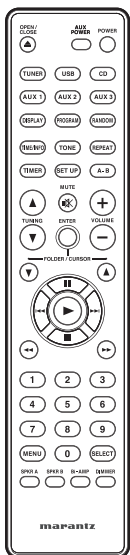
機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

マランツの CD レシーバーをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

付属品の確認

ご使用の前に下記の付属品が揃っていることをご確認ください。

- リモコン RC005CR

- 単４乾電池（２本）

- FM アンテナ

- AM ループアンテナ

- 電源コード

- 取扱説明書（本書）

- 保証書

目　次

主な特長

4 台の高音質デジタルアンプを搭載

バイアンプ方式の採用により、バイワイヤリング方式のスピーカーシステムの能力をいかんなく発揮させることが可能

スピーカー A、B 切替、及び、A、B 同時再生が可能

フロントパネルの USB コネクターにより、MP3/WMA オーディオの再生が可能

確実な接続が可能なネジ式スピーカーターミナル搭載

本体背面の接続端子が上面から見えないスタイリッシュなデザイン

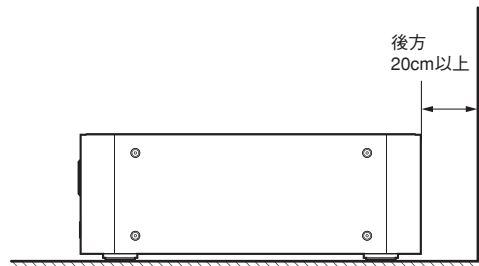
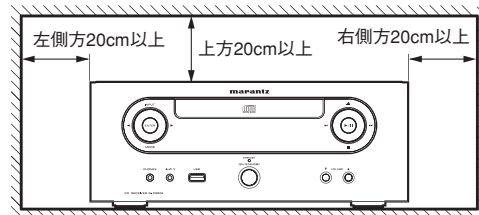
デジタルオーディオプレーヤーの接続に便利なΦ 3.5mm の外部入力端子をフロントパネルに装備

ご使用の前に

次のような場所には置かない

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器が近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- アンプ等の発熱の多いものの上
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる所

  放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。

上に物をのせない

- 本機の上に物をのせないでください。

使用中・使用直後に上面や後面などの高温部には触れない

使用中と使用直後は、操作部以外は高温になっているので手を触れないでください。 やけどのおそれがあり危険です。 特に上面や後面などの高温部には触れないでください。

ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流（AC）100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域、60Hz 地域のどちらでも使用できます。

電源コードの取扱いかた

- 濡れた手で触れないでください。
- 電源コードは、かならずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱったり、折り曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。
- 長い間お出かけの前には、かならずプラグを抜く習慣をつけましょう。

製品内部の修理

- 注油しますと故障の原因になりますのでさけてください。
- 専門知識を持つ技術者以外の方は、ピックアップ部分及び製品内部の修理は行わないでください。

使用上の注意

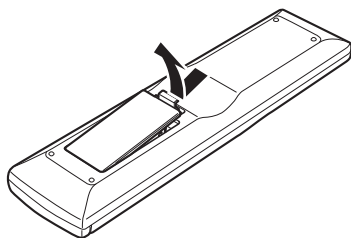
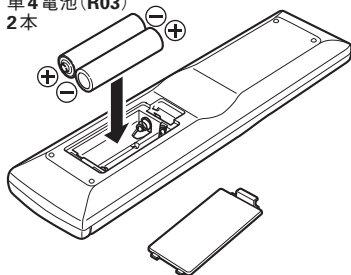
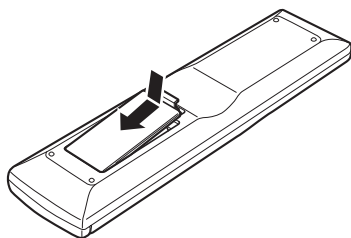
- 冬、暖房のきいた部屋の窓がくもったり水滴がついたりします。この現象を結露といいます。CD プレーヤーは、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。
  – 暖房開始直後の部屋
  – 湿気が多い部屋
  – 寒いところから、急に暖かい部屋に持ち込んだとき

  このようなときは、曲数の読み込みができず、プレーヤーが誤動作することがありますので 30 分位待ってから使用してください。
- 本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビとの距離を離して設置してください。
- アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、演奏がはじまるまでノイズは殆ど聴き取れません。アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。
- 本機は、音楽用 CD（コンパクトディスク）、MP3 ／ WMA フォーマットに圧縮したデータファイルの再生専用オーディオプレーヤーです。パソコン用の CD-ROM や、ゲーム CD、ビデオ CD、DVD、DTS-CD などは再生できません。
- 市販されているレンズクリーナーは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。
- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

リモコンの使用について

リモコンに乾電池を入れる

付属のリモコンを最初にご使用になる前に、リモコンに乾電池を入れてください。
付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。

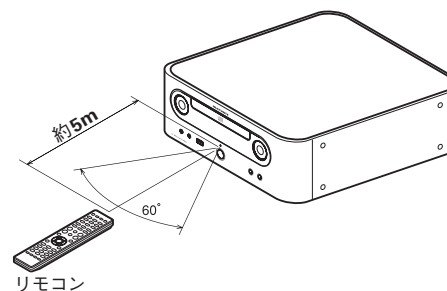
1. 裏ぶたをはずします。

2. 電池の ⊕⊖ を正しく入れます。

3. カチッと音がするまでしめます。

乾電池の取扱いについて

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。
以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しない時は、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラス＋とマイナス－の向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こした時は、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

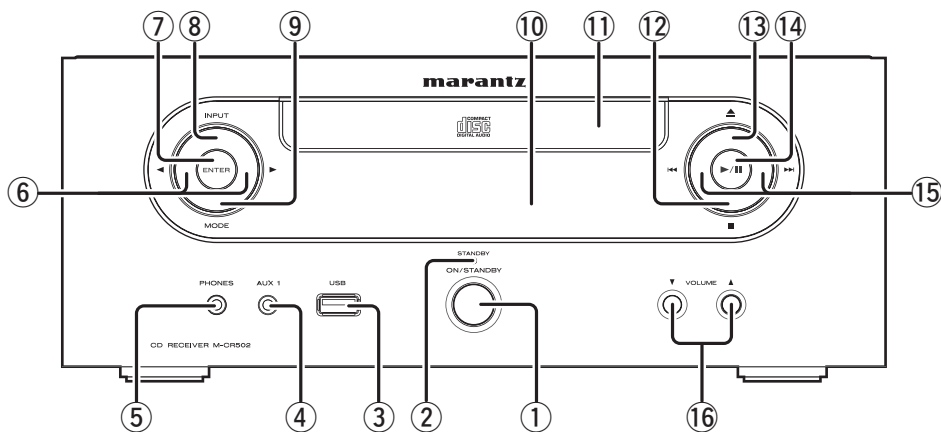
- 不要になった電池を廃棄する場合は、テープなどで絶縁をし、お住まいの地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。
- 電池は火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車内、熱器具の近くなど高温の場所に置かないでください。

リモコンの動作範囲

リモコンによる本体の操作可能範囲は下図のとおりです。

使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。 リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で操作する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

各部の名称

前面

① ON/STANDBY（電源オン / 待機状態）ボタン

11 ページ参照

② スタンバイインジケーター

待機状態のときに点灯します。

③ USB 入力端子

USB デバイスを接続します。

④ AUX1 入力端子

ポータブルオーディオデバイスを接続します。

⑤ PHONES（ヘッドホン）端子

ヘッドホンを接続します。

⑥ ◀▶ ボタン

- SET UP モード

項目の選択に使用します。（22、23、26 ページ参照）

- TUNER モード

周波数の切替えとプリセット番号の設定に使用します。（12、21 ページ参照）

⑦ ENTER（エンター）ボタン

項目の決定に使用します。
（16、22、23、26 ページ参照）

- TUNER モード

放送局を記録するときに使用します。（21ページ参照）

⑧ INPUT（インプット）ボタン

入力ソースを選択します。

⑨ MODE（モード）ボタン

- SET UP モード

ボタンを押し続けると、SET UP メニューを呼び出します。（22、23、26 ページ参照）

- TUNER モード

登録した放送局に名前をつけるときに使用します。
（22 ページ参照）

⑩ ディスプレイ

再生状態や設定などを表示します。

⑪ ディスクトレイ

コンパクトディスクをセットするトレイです。

⑫ ■（停止）ボタン

11 ページ参照

⑬ ≜（オープン / クローズ）ボタン

ディスクトレイを開閉します。

⑭ ▶/❚❚（再生 / 一時停止）ボタン

11 ページ参照

⑮ ⏮ ⏭ ボタン

- TUNER モード

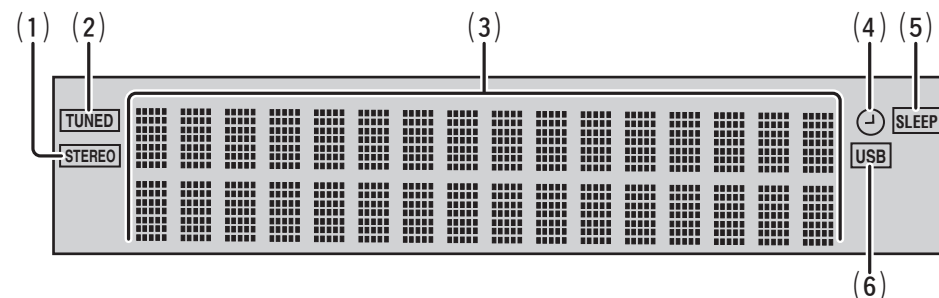
前後のプリセットチャンネルを選択します。
（22 ページ参照）

- CD/USB モード

前後の曲を選択します。（12 ページ参照）
ボタンを押し続けると、早送り、早戻しを行います。

⑯ VOLUME ▲（音量アップ）ボタン VOLUME ▼（音量ダウン）ボタン

音量を調整します。

表示部

(1) STEREO インジケーター

FM ステレオ放送を受信しているときに点灯します。

(2) TUNED インジケーター

放送局を受信しているときに点灯します。

(3) メインディスプレイ

CD や USB デバイスを再生中はトラックや曲情報の表示をします。チューナー使用時は放送局の受信周波数を表示します。

(4) タイマーインジケーター

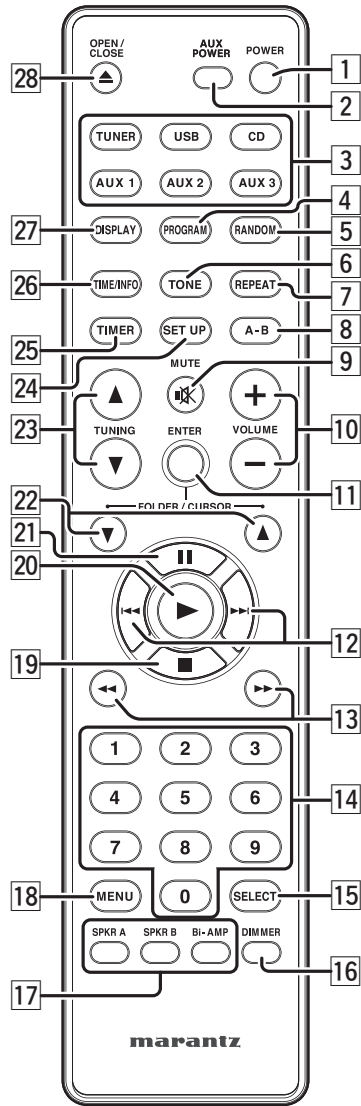
ウエイクアップタイマー機能を有効にしたときに点灯します。

(5) SLEEP インジケーター

スリープタイマー機能を有効にしたときに点灯します

(6) USB インジケーター

USB デバイスを認識したときに点灯します。

リモコン

共通操作

1 POWER（電源）ボタン

本機の電源をオンまたは待機状態にすることができます。

2 AUX POWER ボタン

IS201に接続したiPodの電源をオンまたは待機状態に切り替えます。

3 入力ソース選択ボタン

入力ソースを選択します。

ご注意

TUNERボタンは、AM/FMの切替えにも使用します。

6 TONE（トーン）ボタン

音質の調整を行います。（16ページ参照）

9 MUTE（ミュート） ボタン

消音します。消音を解除してもとの音量に戻すには、MUTEボタンを再度押します。

10 VOLUME ＋（ボリューム＋）ボタン、VOLUME －（ボリューム－）ボタン

音量の調整を行います。

11 ENTER（エンター）ボタン

15 SELECT ボタン

iPodのクリックホイール選択ボタンと同じ動作をします。

16 DIMMER（ディマー）ボタン

表示管の輝度を調整します。（16ページ参照）

17 スピーカーモード選択ボタン

接続したスピーカー端子に合わせて各々のボタンを押します。

18 MENU ボタン

iPodのクリックホイールメニューと同じ動作をします。

24 SET UP（セットアップ）ボタン

SET UPメニューを呼び出します。（22、23、26ページ参照）

25 TIMER（タイマー）ボタン

時計、タイマーON/OFF、スリープの設定を行います。（15ページ参照）

27 DISPLAY（ディスプレイ）ボタン

時計、タイマーの設定を表示します。（15ページ参照）

CD/USBの操作（CD/USBモード）

4 PROGRAM（プログラム）ボタン

プログラム再生を行います。（19ページ参照）

5 RANDOM（ランダム）ボタン

順不同で曲を再生します。（18ページ参照）

7 REPEAT（リピート）ボタン

1曲またはディスクの全曲を繰り返し再生します。（18ページ参照）

8 A-B（A-Bリピート）ボタン

指定した部分を繰り返し再生するときに、開始（A）点と終了（B）点を指定します。（18ページ参照）

12 ▶▶|（次曲選択）ボタン
|◀◀（前曲選択）ボタン

次の曲の頭に進みます。
再生中の曲の頭や、前の曲の頭に戻ります。

13 ▶▶（早送り）ボタン
◀◀（早戻し）ボタン

再生中、押し続けると早送りします。
再生中、押し続けると早戻しをします。

14 数字ボタンのグループ

再生する曲番（トラックナンバー）を指定します。

19 ■（停止）ボタン

再生を停止します。

20 ▶（再生）ボタン

再生を開始します。

21 II（一時停止）ボタン

再生を一時停止するボタンです。

各部の名称

㉒ FOLDER/CURSOR ▼（フォルダ / カーソル ▼）ボタン FOLDER/CURSOR ▲（フォルダ / カーソル ▲）ボタン
MP3 / WMA再生時にフォルダを選択します。
（13 ページ参照）

㉖ TIME/INFO.（時間 / インフォメーション）ボタン
再生中の時間やテキスト表示の切替えをします。
（20 ページ参照）

㉘ ≜（オープン / クローズ）ボタン
ディスクトレイを開閉します。

チューナーの操作（TUNER モード）

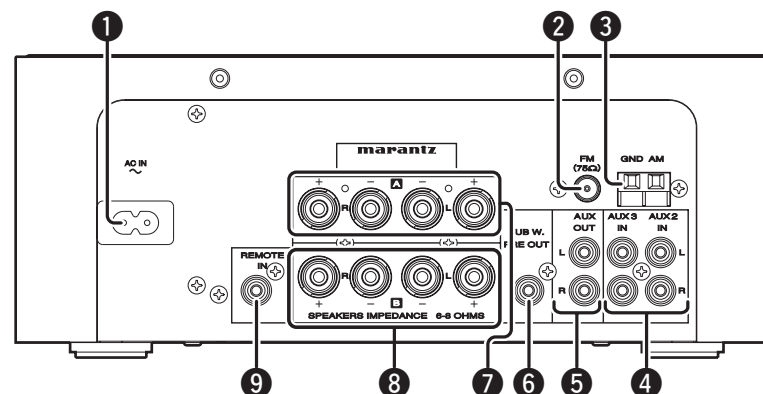
⑪ ENTER（エンター）ボタン
放送局の記憶（プリセット）を行います。
（21 ページ参照）

⑫ ⏭（プリセット次）ボタン ⏮（プリセット前）ボタン
前後のプリセットチャンネルを選択します。
（22 ページ参照）

⑭ 数字ボタンのグループ
プリセット番号の設定とプリセットチャンネルの選択に使用できます。
（22 ページ参照）

⑲ ■（プリセット番号削除）ボタン
プリセットチャンネルを削除します。
（22 ページ参照）

㉓ TUNING ▲（チューニング ▲）ボタン TUNING ▼（チューニング ▼）ボタン
受信周波数を上げたり下げたりするときに使用します。（12 ページ参照）

背面

❶ AC 電源コード接続端子
付属のAC電源コードを接続してください。

❷ FM アンテナ端子
付属のFMアンテナを接続してください。受信状況が良くないときは外部アンテナと接続してください。

❸ AM アンテナ端子
付属のAMアンテナを接続してください。

❹ AUX IN 端子
マランツ製iPod専用ミュージックジャンクション（IS201）やCDプレーヤーと接続してください。

❺ AUX OUT 端子
外部のプリメインアンプと接続してください。

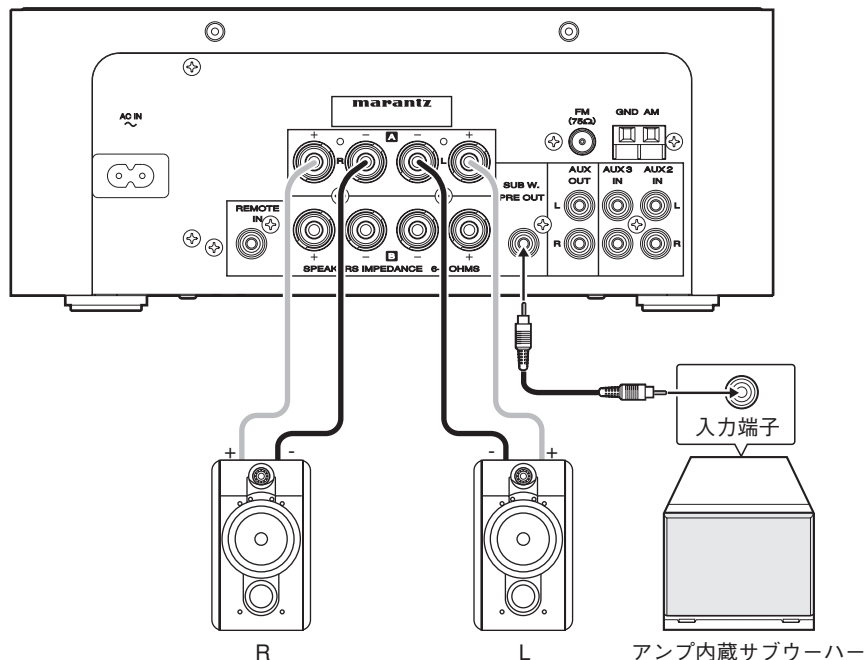
❻ SUB W. PRE OUT 端子
パワードサブウーファーの入力端子と接続してください。

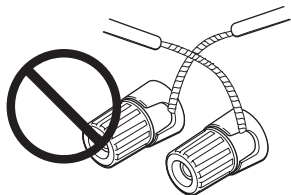
❼ スピーカー A 出力端子
スピーカーと接続してください。

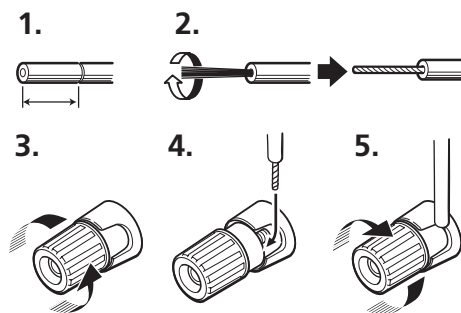
❽ スピーカー B 出力端子
スピーカーと接続してください。

❾ REMOTE IN 端子
マランツ製品のREMOTE CONTROL 出力端子と接続してください。

基本接続

スピーカーを接続する

ご注意

- 本機背面に表記されているインピーダンス仕様のスピーカーを必ずご使用ください。
- 回路への損害を防止するため、裸のスピーカーコード同士を接触させたり、本機の金属部分に接触させたりしないでください。

- 感電の恐れがあるので、電源がONのときはスピーカー端子に触れないでください。
- 1つのスピーカー端子に複数のスピーカーコードを接続しないでください。本機に損害を与える恐れがあります。
- スピーカー端子への接続は極性を間違えずに行ってください。間違えた場合、信号の位相は反転し、再生される音楽は不自然になります。

スピーカーコードの接続

1. スピーカーコードの被覆を約10mm取り除きます。
2. ショート防止のためコードの裸部分をきつくよじってください。
3. スピーカー端子を左方向に回して、端子をゆるめます。
4. スピーカー端子の側面にある穴にスピーカーコードの裸部分を挿入します。
5. スピーカー端子を右方向に回して、端子を締めます。

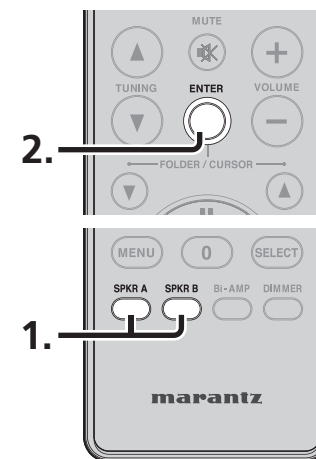
サブウーファーの接続

パワード（パワーアンプ内蔵）サブウーファーとの接続は、本機のサブウーファー用音声出力端子を使用してください。
詳細な接続は、ご使用のサブウーファーの取扱説明書をお読みください。

スピーカー出力を設定する

本機の電源を入れた後（11ページ参照）、接続したスピーカーA、B端子に合わせて本機のスピーカー出力を設定します。
初期設定はSPKR Aです。

ご注意

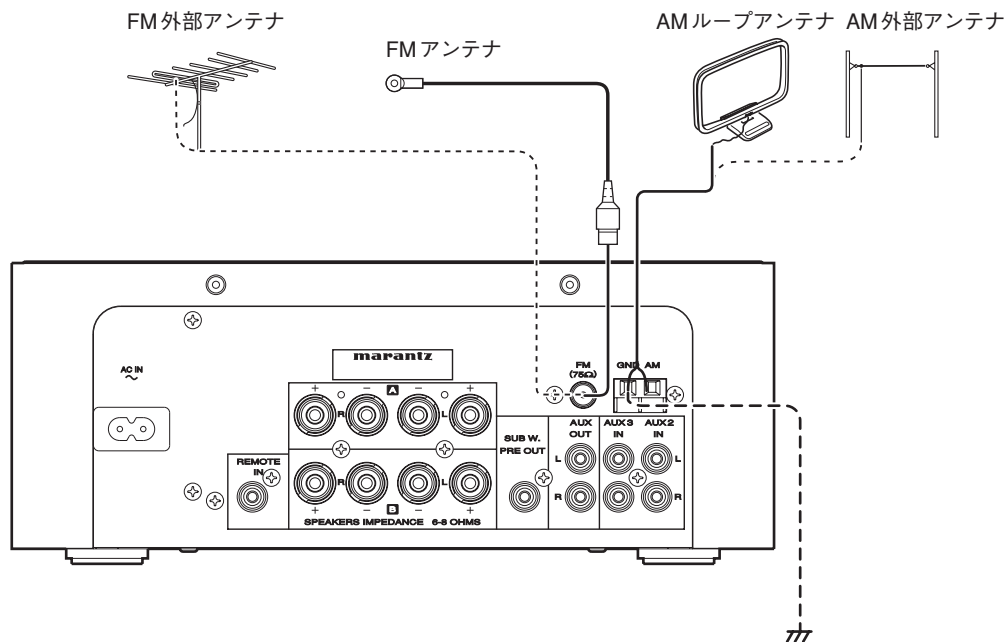
スピーカーの設定は音量を小さくしてから行なってください。

1. 接続したスピーカーA、B端子に合わせてリモコンのSPKR AまたはSPKR Bボタンを押します。

ご注意

リモコンのSPKR A、Bボタンを押してから3秒以上経過すると、通常表示へ戻ります。

2. ENTERボタンを押します。
   表示は点滅から点灯に変わります。

基本接続

AM ／ FM アンテナを接続する

付属アンテナの接続

付属 FM アンテナの接続

付属 FM アンテナは室内で使用してください。
使用時は、アンテナを伸ばしてクリアに受信できるまで様々な方向に移動させてください。
雑音が最も少ない場所に押しピンなどを使ってアンテナを固定します。
受信状態が悪い場合は、屋外アンテナを設置すると受信状態が良くなることがあります。

付属 AM ループアンテナの接続

付属の AM ループアンテナは室内で使用してください。
クリアに受信できる方向および位置にアンテナを設置します。
本機、TV、スピーカー、電源コードからできるだけ離して置いてください。
受信状態が悪い場合は、屋外アンテナを取り付けると受信状態が良くなることがあります。

1. AM アンテナ端子のレバーを押下げます。
2. 裸線をアンテナ端子に差し込みます。
3. レバーを離します。

ご注意

- シールド線の GND 線（黒）を AM アンテナ端子の GND 側に接続します。

FM 屋外アンテナの接続

ご注意

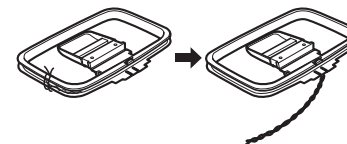
- アンテナはノイズ源（ネオンサイン、交通量の多い道路など）から離して設置してください。
- アンテナを送電線や変圧器などから離して設置してください。
- 落雷や感電を防ぐため、必ず接地を行ってください。

AM 屋外アンテナの接続

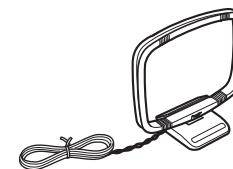
ご注意

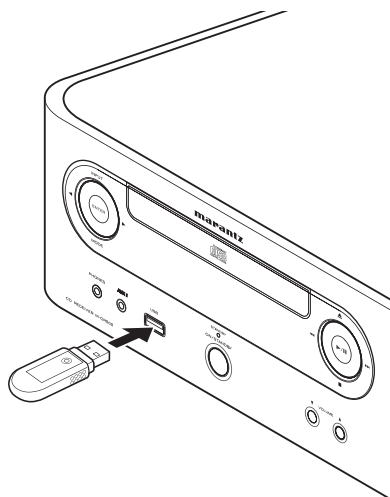
- AM ループアンテナは取り外さないでください。
- 落雷や感電を防ぐため、必ず接地を行ってください。

AM ループアンテナの組み立て

1. 接続線を取り出します。

2. 台座部分を反対側に折り曲げます。

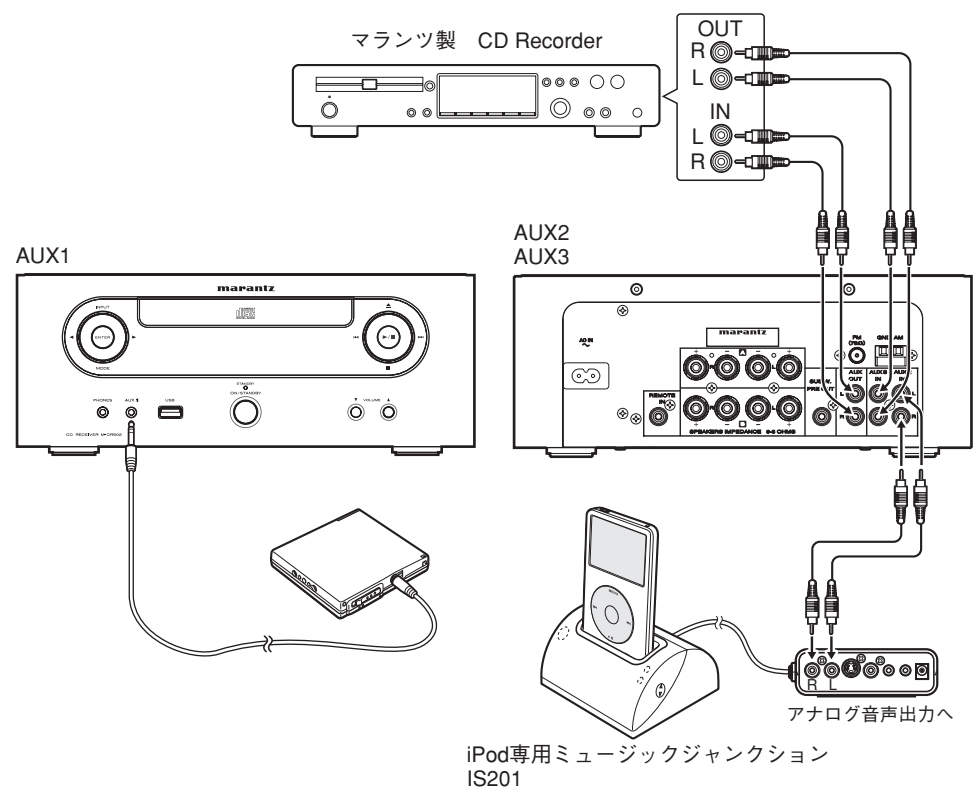
3. ループの底にあるフックを台座部分の溝に入れます。

4. 安定した面にアンテナを設置します。

USB メモリーを接続する

MP3 やWMA に圧縮変換した音楽データファイルを記録したUSB メモリーを接続します。

ご注意

- USB メモリーは待機状態または入力ソースがUSB以外のときに接続してください。電源オン状態で入力ソースがUSBのときにUSB メモリーを抜き差しするとUSB メモリーが壊れることがあります。
- USB ハードディスクはサポートしていません。

外部機器を接続する

ステレオミニプラグ（ϕ 3.5mm）付オーディオケーブル（市販品）を使い、本機のAUX 1（外部入力）端子とポータブル音楽再生機の音声出力端子を接続します。

ご注意

- 接続前に各機器の電源を切ってください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- USB コネクタを持つポータブル機器で接続コードとUSB コネクタを両方接続した場合や、接続コードと電源コードを一緒に束ねたりした場合、ハムや雑音の原因になることがあります。
- 接続する際は、本機および外部機器の音量を上げ過ぎないようご注意ください。

基本接続

ヘッドホンを接続する

ヘッドフォンプラグ（φ 3.5mm）を本機のヘッドフォン端子に接続します。

- ヘッドフォンを接続すると、本機のスピーカーから音は出なくなります。

ご注意

接続する際は、本機の音量を上げ過ぎないようご注意ください。

電源コードを接続する

- 付属の電源コードを本機の電源コード用端子に差し込みます。
- 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

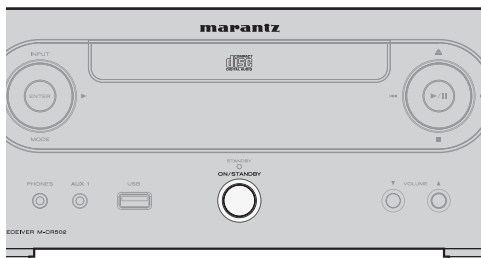
ご注意

電源コードが接続されていると、電源が常時入った状態（待機状態）になっています。完全に本機の電源を切りたいときは電源コードを抜いてください。ただし、再度電源コードを接続したときには、時計・タイマーの設定が必要になります。

基本操作

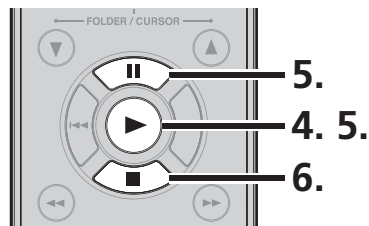
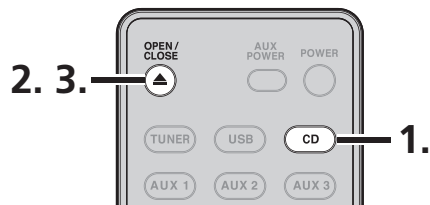
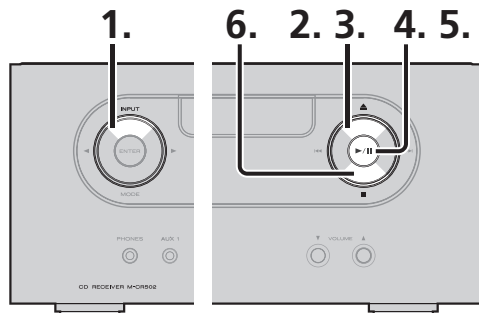
電源をオン / 待機状態にする

電源を入れる前に、再度スピーカーやアンテナなどが接続されているか確認してください。

本機のON/STANDBYボタンを押して、電源を入れます。

リモコンのPOWERボタンを押して、電源を入れます。

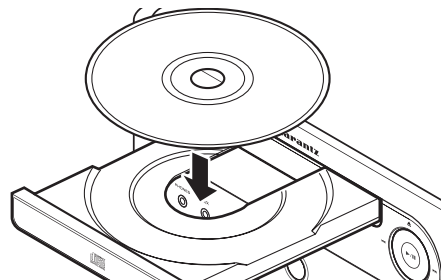
CD を聴く

本機はCD-R、CD-RWにCD-ROMフォーマットである ISO9660モード1またはモード2で書き込みしたMP3、WMAの音楽データファイルの再生もできます。

CDを聴く前に本機の音量を十分下げておいてください。

1. 本機のINPUTボタンまたはリモコンのCDボタンで入力ソースをCDに選択します。

ご注意

本機のINPUTボタンで入力ソースをCDに変更したときは、リモコンのCDボタンを押して、リモコンをCDモードにしてください。

2. ▲ボタンを押して、CDをディスクトレイにのせます。 トレイにのせる際、印刷されているレーベル面を上にしてください。

3. 再度、▲ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。

- ディスク情報を読んだ後、表示部は下記のようになります。

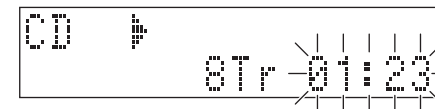
再生する

4. 本機の▶/❚❚ボタンまたはリモコンの再生ボタンを押すと、CDの再生を開始します。

- 再生が開始したら、お好みの音量になるよう本機またはリモコンの音量ボタンで調節してください。

- ディスクトレイを閉めるときに、本機の▶/❚❚ボタン、リモコンの▶ボタン、RANDOMボタン、数字ボタンを押してもCDの再生を開始します。

一時停止する

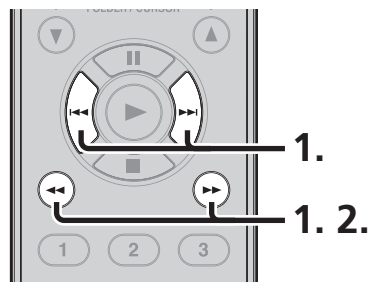
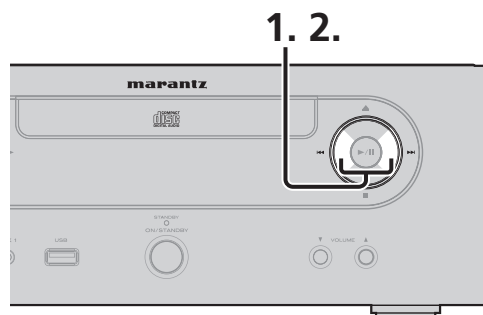
5. 再生中に本機の▶/❚❚ボタンまたはリモコンの❚❚ボタンを押すと、再生を一時停止します。

- 再生を開始するときは、再度本機の▶/❚❚ボタンまたはリモコンの▶ボタンまたは❚❚ボタンを押します。

停止する

6. 再生中に本機またはリモコンの■ボタンを押すと、再生は停止します。

基本操作

前曲を再生

1. 再生中に、⏮ボタンを押すと、再生している曲の最初からもう一度再生します。
2. 再生中の曲より前の曲を再生したいときは、⏮ボタンを連続して2回押すと1つ前の曲に移動します。

次曲を再生

1. 再生中に、⏭ボタンを押すと、次の曲を再生します。
2. 再生中の曲より更に後の曲を再生したいときは、⏭ボタンを押した回数だけ曲番が移動します。
   - リモコンの数字キーで曲番号を選ぶと、その曲が自動的に再生されます。
   - 10曲以上の曲番を選択するにはリモコンの数字ボタンを連続して押します。

     例えば、18曲目を聴きたいときはリモコンの1と8を連続して押します。このとき、1を入力した後、3秒以内に8を入力しないと1曲目の再生が始まります。

早戻し、早送り

- 曲の聴きたい部分を素早く見つけることができます。
- 早戻し/早送り中は、スピーカーからの音量は小さくなります。

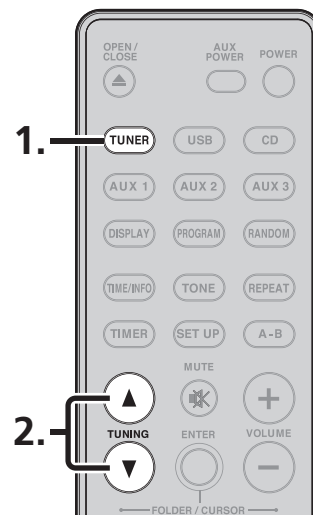
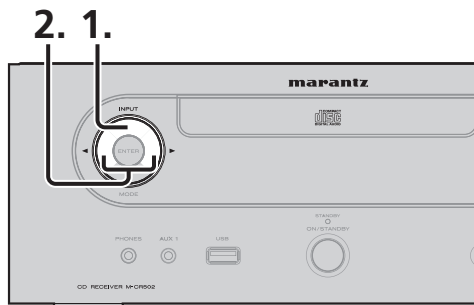
早戻し

再生中に聴きたい部分が見つかるまで、本機の⏮ボタンまたはリモコンの⏪ボタンを押し続けます。聴きたい部分が見つかったらボタンを離すと、再生が始まります。

早送り

再生中に聴きたい部分が見つかるまで、本機の⏭ボタンまたはリモコンの⏩ボタンを押し続けます。聴きたい部分が見つかったらボタンを離すと、再生が始まります。

ラジオ放送を聴く

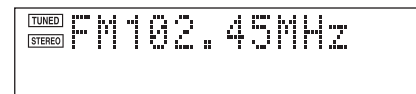
ラジオ放送を聴く前に、AMアンテナ、FMアンテナが本機と接続されているか確認してください。

1. 本機のINPUTボタンまたはリモコンのTUNERボタンで入力ソースをFMまたはAMに選択します。

ご注意

本機のINPUTボタンで入力ソースをFMまたはAMに変更したときは、リモコンのTUNERボタンを押して、リモコンをTUNERモードにしてください。

自動選局する

2. 本機の◀/▶ボタンまたはリモコンのTUNING ▲/▼ ボタンを1秒以上上押すと、受信可能な放送局の周波数を自動で選局します。
3. 放送局を受信すると、表示部に"TUNED"が点灯されます。
   - FM放送で、ステレオ放送を受信しているとき、表示部は"STEREO"が点灯します。

TUNED STEREO FM102.45MHz

手動選局する

2. 本機の◀/▶ ボタンまたはリモコンのTUNING ▲/▼ ボタンを押して、聴きたい放送局の周波数にあわせます。
3. 放送局を受信すると、表示部に"TUNED"が点灯されます。

ご注意

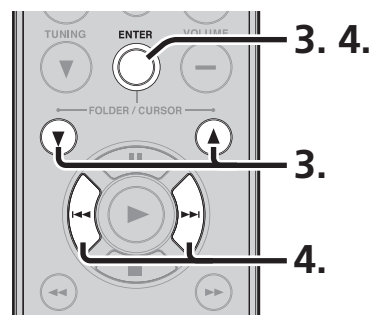
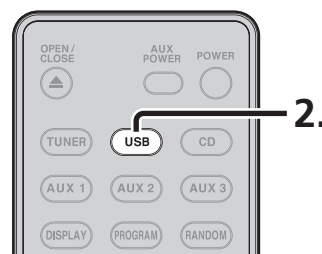
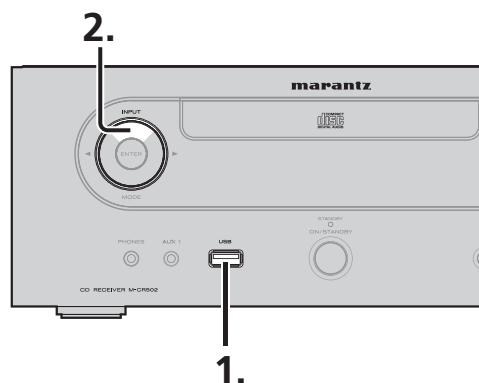
- FM放送で、雑音が多いときはセットアップメニューで"FM MONO"を選択してください。（22ページ参照）
- 電波の弱いFM放送局を受信するときは、外部アンテナをご使用ください。

USBデバイスで聴く

- 本機はMP3（MPEG Audio Layer3）またはWMA（Windows Media Audio）ファイル形式で記録されたUSBメモリー内にあるデータファイルを再生することができます。
- 本機はMP3のID3タグバージョン1に対応しており、ID3タグ情報が記録されているファイルではID3タグ情報を表示することができます。（21ページ参照）

- Windows Media，Windowsロゴは米国、その他の国で、米国Microsoft Corporationの登録商標または商標になっています。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ご注意

- すべてのUSBメモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。
- USBメモリーを本機と接続して使用している時に、USBメモリーのデータが万が一消失あるいは損傷した場合、当社は一切責任を負いかねます。
- 本機は4GB以下の容量のファイルを再生します。

1. USBメモリーを本機に接続します。

ご注意

USBメモリーは待機状態または入力ソースがUSB以外のときに接続してください。電源オン状態で入力ソースがUSBのときにUSBメモリーを抜き差しするとUSBメモリーが壊れることがあります。

2. 本機のINPUTボタンまたはリモコンのUSBボタンでUSBを選択します。
USBメモリーに音楽ファイル（MP3/WMA）が無いときは、ディスプレイに“No file”が表示されます。

- USBメモリーに音楽ファイルが入っていたときは自動再生を始めます。

```
MP3 ▶
        1Tr 00:00
```

- MP3/WMAディスクまたはUSBデバイスを再生しているとき「トラック名」、「アーティスト名」、「アルバム名」の順にスクロール表示をします。

ご注意

本機のINPUTボタンで入力ソースをUSBに変更したときは、リモコンのUSBボタンを押して、リモコンをUSBモードにしてください。

3. リモコンのFOLDER / CURSOR ▲/▼ボタンを押してフォルダを選択し、ENTER ボタンを押します。

ご注意

フォルダが無い場合にFOLDER / CURSOR ▲/▼ボタンを押すと、ディスプレイには“ROOT”が表示されます。

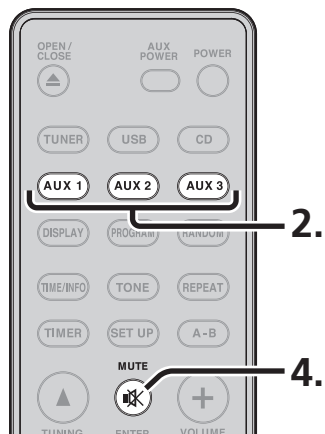
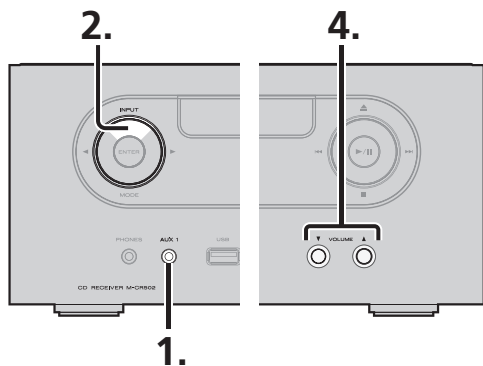
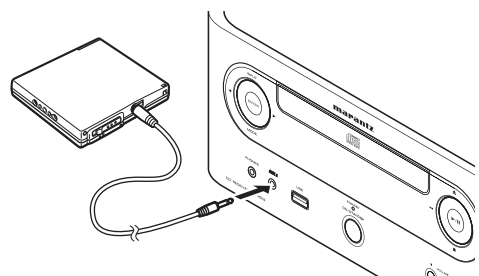
4. リモコンの⏮または⏭ボタンを押してフォルダ内のファイルを選択し、リモコンのENTERボタンを押すとファイルの再生を開始します。

- ⏮または⏭ボタンを1秒以上押し続けると、ファイルの選択が素早くできます。

ご注意

USB内のファイルを検索する際、表示部にはファイル名を表示することはできません。
ファイル番号のみ表示します。

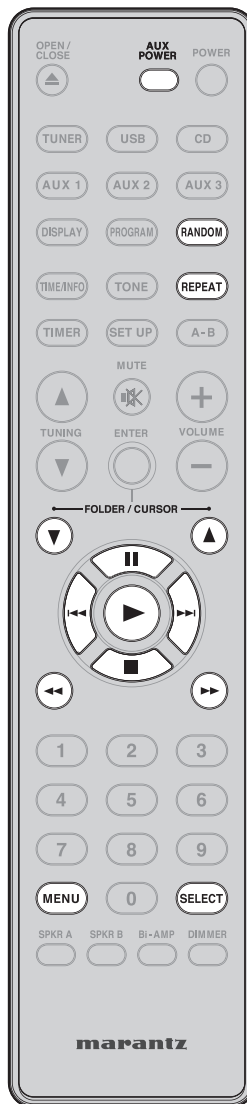
基本操作

外部機器で聴く

1. 外部機器（携帯型オーディオデバイス）を本機前面にあるAUX 1に接続してください。マランツ製iPod専用ミュージックジャンクション（IS201）やその他の外部機器はAUX2またはAUX3に接続してください。
2. 本機のINPUTボタンまたはリモコンのAUXボタンで聞きたい外部機器を選択します。
   - 本機前面にあるAUX 1端子と接続した機器を再生するときはAUX1を選択します。
3. 外部機器の再生を開始します。
4. 本機またはリモコンでお好みの音量に調整してください。
   - 消音するときはリモコンのMUTEボタンを押します。また消音を解除するには再度、MUTEボタンを押します。

マランツ製iPod専用ミュージックジャンクション（IS201）のリモコン操作

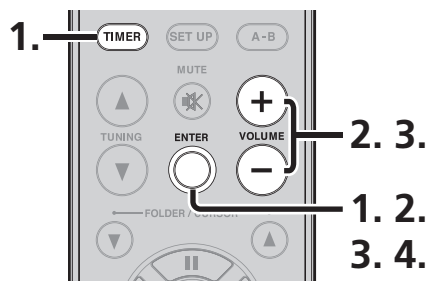
付属リモコンを使って､以下の操作を行なうことができます。

ご注意

下記の操作を行うときは、リモコンのAUX 1～3のいずれかのボタンを押し、リモコンを共通操作モードにしてください。

AUX POWERボタン	IS201に接続したiPodの電源をオンまたは待機状態に切り替えます。
▲ボタン	iPodのクリックホイール左回しと同じ動作をします。 **ご注意** iPodの音量調節はできません。
▼ボタン	iPodのクリックホイール右回しと同じ動作をします。 **ご注意** iPodの音量調節はできません。
SELECTボタン	iPodのクリックホイール選択ボタンと同じ動作をします。
MENUボタン	iPodのクリックホイールメニューと同じ動作をします。
REPEATボタン	iPodのリピートモード（1曲→全曲→オフ）を切り替えます。
RANDOMボタン	iPodのシャッフルモード（曲→アルバム→オフ）を切り替えます。
■ボタン	iPodの再生を停止します。
IIボタン	iPodの再生を一時停止します。
►ボタン	iPodの再生を開始します。
I◄◄ボタン	1回押すと再生中のコンテンツの最初に戻ります。2回続けて押すと1つ前のコンテンツに戻ります。
◄◄ボタン	再生している場所から早戻しをします。
►► ボタン	再生している場所から早送りをします。
►►Iボタン	1回押すと次のコンテンツにスキップします。

基本設定

時刻を設定する

リモコンで操作します。

1. TIMER ボタンを押し、「TIME」を選択して、ENTERボタンを押します。

2. 「時」表示が点滅中に、VOLUME ＋/－ボタンで時を合わせて、ENTER ボタンを押します。

3. 「分」表示が点滅中に、VOLUME ＋/－ボタンで分を合わせて、ENTER ボタンを押します。

4. 「時・分」表示が点滅中に、ENTER ボタンを押すと、「時・分」表示が点灯に変わり、時刻設定を終了します。

ご注意

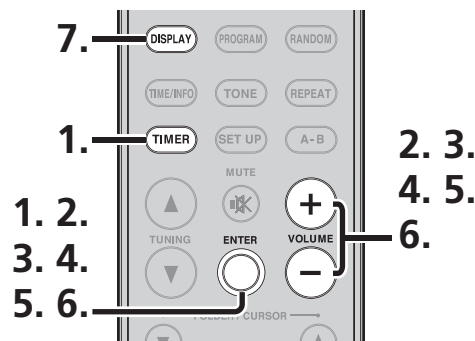
- 「時・分」表示が点滅中に10秒以内に時刻の入力またはENTERボタンを押さないと時刻設定が無効になります。
- 時計表示はCLOCK MODEをONに設定したときのみ表示します。（16ページ参照）

タイマーを使う

ウエイクアップタイマー（目覚ましタイマー）を設定する

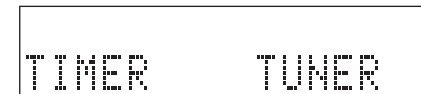
設定した時間になると、本機の電源が入り、設定した入力ソースを再生する機能です。

ご注意

- タイマーを設定する前に、本機を正しい時刻に合わせてください。
- タイマーの入力ソースがCDのときは、あらかじめCDをディスクトレイにセットしてください。
- タイマーの入力ソースがUSBのときは、あらかじめMP3/WMAの音楽ファイルが入ったUSBメモリーを接続してください。
- ウエイクアップタイマーをONに設定すると、CLOCK MODEは自動的にONに設定します。（16ページ参照）

1. TIMER ボタンを2回押して、「TIMER」を選択して、ENTERボタンを押します。
2. 「OFF」表示が点滅中に、VOLUME ＋/－ ボタンで「ON」を選択して、ENTER ボタンを押します。
3. 「時」表示が点滅中に、VOLUME ＋/－ ボタンで「時」を設定して、ENTER ボタンを押します。

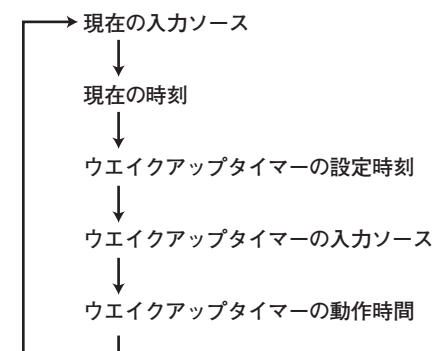
TIMER ON 00:00

4. 「分」表示が点滅中に、VOLUME ＋/－ ボタンで「分」を設定して、ENTER ボタンを押します。
5. 入力ソースが点滅中に、VOLUME ＋/－ ボタンでタイマーの入力ソースを設定して、ENTER ボタンを押します。

TIMER TUNER

6. タイマーの動作時間を、VOLUME ＋/－ ボタンで設定して、ENTER ボタンを押すと、タイマーの設定は完了します。
   設定時間は30分から90分の間で10分刻みで選択できます。

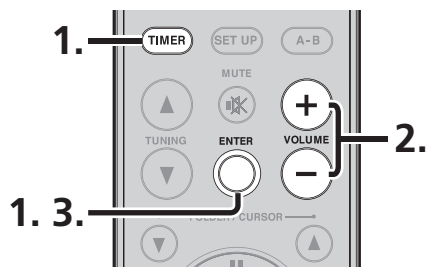
TIMER OFF 60

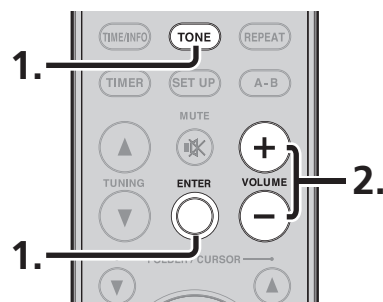
- タイマーを解除するときは手順2で「OFF」を選択します。タイマーが解除され、ディスプレイの ◴ 表示が消えます。

7. タイマーの時間を確認したいときは、リモコンのDISPLAY ボタンを押します。
   DISPLAY ボタンを押す毎に、ディスプレイは下記の様に表示されます。

スリープタイマーを設定する

設定した時間になると、本機の電源が自動的に待機状態になる機能です。

ご注意

スリープタイマーを設定した際、本機に接続した外部機器の電源を待機状態にすることはできません。

1. TIMER ボタンを3回押して、「SLEEP OFF」を選択して、ENTER ボタンを押します。
2. 「OFF」表示が点滅中に、VOLUME ＋/－ ボタンで設定する時間を選択します。
3. ENTERボタンを押すと、スリープタイマーの設定は完了します。
   - 設定時間は最大240分です。
   - タイマーを解除するときは手順2で「OFF」を選択します。スリープタイマーが解除され、ディスプレイの SLEEP 表示が消えます。
   - 本機の電源を待機状態にすると、設定したスリープタイマーは解除されます。

音質を調整する

高音を調整する

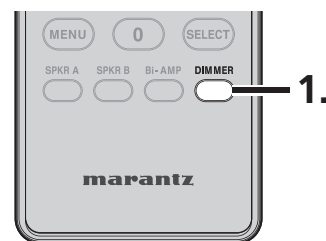
1. TONE ボタンを押して、「TREBLE」を選択します。
2. VOLUME＋/－ボタンで高音を調整します。(-10dB～+10dB)

低音を調整する

1. TONE ボタンを押して、「BASS 」を選択します。
2. VOLUME＋/－ボタンで低音を調整します。(-10dB ～ +10dB)

左右の音量バランスを調整する

1. TONE ボタンを押して、「BALANCE」を選択します。
2. VOLUME＋/－ボタンで左右の音量バランスを調整します。（L (左) ＋6dB～CENTER～R (右) ＋6dB）

ディスプレイの明るさを変える

電源がオンのとき

1. リモコンのDIMMER ボタンを押します。
   - DIMMER ボタンを押す毎に、ディスプレイの明るさが三段階で切り替わります。

DIMMER

CLOCK MODE を設定する

1. 本機のINPUT ボタンまたはリモコンのAUX 1～3 ボタンで入力ソースをAUX 1～3のいずれかにします。
2. フロントパネルのENTER ボタンを押しながらON/STANDBY ボタンを押します。

CLOCK MODE
OFF

3. フロントパネルの◀/▶ ボタンでONを選択します。（デフォルトはOFF）

CLOCK MODE
ON

4. フロントパネルのENTER ボタンを押して設定を完了します。
   - 元に戻したいときは、手順**2.**の操作でOFFを選択し、ENTER ボタンを押します。

ご注意

- お買い上げ時の時計の表示は“0:00”です。時刻の設定をおこなってください。
（15ページ参照）

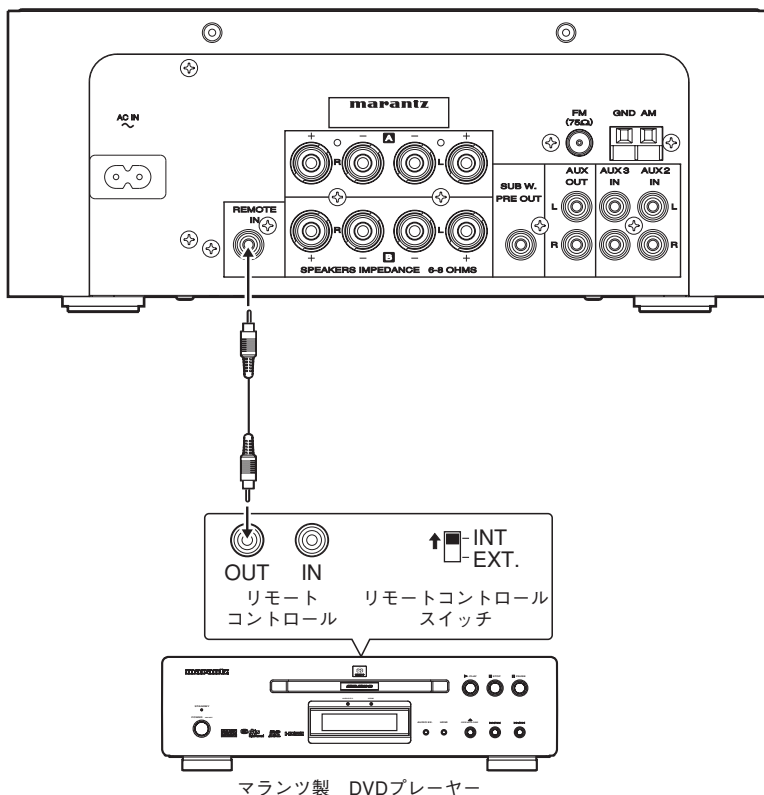
応用接続

リモートコントロール接続

- リモートコントロール端子はマランツ製DVDプレーヤーなどリモートコントロール端子を持つ機器と接続する端子です。
- 本機と接続したマランツ製DVDプレーヤーのリモートセンサーを使って本機を操作することができます。操作する際、設定を「IR＝DISABLE」にしてください。

マランツ製　DVDプレーヤー

ご注意

このリモートコントロール接続を行う場合、本機と接続する機器の背面に装備されているリモートコントロールスイッチは、INT.に設定してください。

リモートコントロールを設定する

1. 本機のINPUTボタンまたはリモコンのAUX 1～3ボタンで入力ソースをAUX 1～3のいずれかにします。

2. ■ボタンを押しながら、ON/STANDBYボタンを押します。

IR = ENABLE

3. ◀/▶ボタンで「IR=DISABLE」を選択し、ENTERボタンを押します。

IR = DISABLE

- 「IR = DISABLE」に設定すると、リモコンで本機を操作することはできなくなります。
- もとに戻すには、手順1～2の操作で、「IR=ENABLE」を選択し、ENTERボタンを押します。

応用操作

CD と USB デバイスの便利な使い方

ご注意

これらの操作を行うときは、リモコンのCDまたはUSBボタンを押し、リモコンをCD/USBモードにしてください。

ランダム再生

CDやUSBに入っている曲をランダム(順不同)に再生します。

停止または再生中にリモコンのRANDOMボタンを押すと、ランダム再生が始まります。

ランダム再生を解除するには再度RANDOMボタンを押します。

繰り返し(リピート)再生

リピートの設定は停止中でも再生中でも行なうことができます。

- CD

- MP3／WMA

CDの1曲リピート

リモコンのREPEATボタンを1回押すと、1曲リピート再生します。

CDの全曲リピート

リモコンのREPEATボタンを2回押すと、全曲リピート再生します。

MP3/WMAの1曲リピート

リモコンのREPEATボタンを1回押すと、1曲リピート再生します。

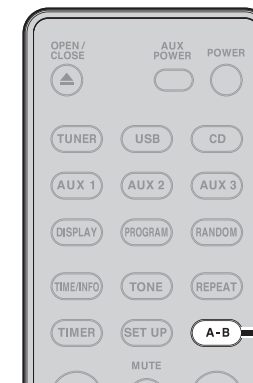
MP3/WMAのフォルダリピート

リモコンのREPEATボタンを2回押すと、フォルダ内にあるMP3/WMAの音楽ファイル全ファイルをリピート再生します。

MP3/WMAの全曲リピート

リモコンのREPEATボタンを3回押すと、MP3/WMAの音楽ファイル全ファイルをリピート再生します。

A-B リピート再生

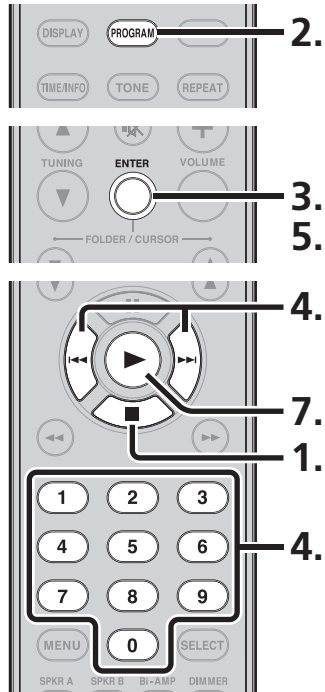
- CDのお好みの区間だけを繰り返し再生します。

1. リピート開始したいところでリモコンのA-Bボタンを押します。

2. リピート終了したいところで再度リモコンのA-Bボタンを押します。
設定が終了するとリピート開始点に戻り、A-B間を繰り返し再生します。

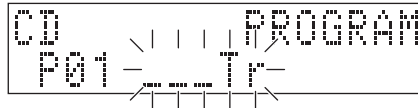
ご注意

- MP3/WMAは同じ音楽ファイル内のみで有効になります。
- A-Bリピート中にリモコンのA-Bボタンを押すとA-Bリピートが解除されます。
- USBデバイス再生時はA-Bリピートができません。

指定した曲順で聴く

- CDに入っている曲またはMP3／WMAの音楽ファイルの中から、お好みの曲をお好きな順番で再生することができます。
- 指定できる曲数は最大で40曲です。41曲目を入力すると40曲までがキャンセルされて1曲目から入れなおしになります。
- 設定は停止状態で操作してください。
- USBプログラムモードではファイル番号を999番目以上登録することができません。

1. リモコンの■ボタンを押してCDまたはMP3/WMAの再生を停止します。

2. リモコンのPROGRAMボタンを押します。

3. リモコンのENTERボタンを押します。

4. プログラムしたい曲番をリモコンの⏮/⏭ボタンまたは数字ボタンで入力します。

5. リモコンのENTERボタンで決定します。

6. 手順**4. 5.**を繰り返し、曲番を入力します。

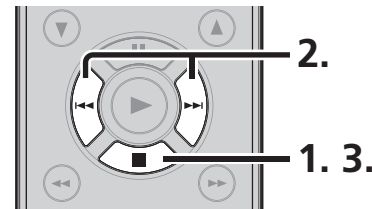
7. プログラムの設定を完了させるには、リモコンのENTERボタンを押します。

指定した曲のトータル時間を表示します。

8. 指定したお好みの曲を再生するにはリモコンの▶ボタンまたは本機の▶/⏸ボタンを押します。

ご注意

リセットやトレイの開閉で指定した曲順は解除されます。

指定した曲の解除

1. プログラム再生中に■ボタンを押して、曲の再生を停止し、プログラム入力待ち状態にします。

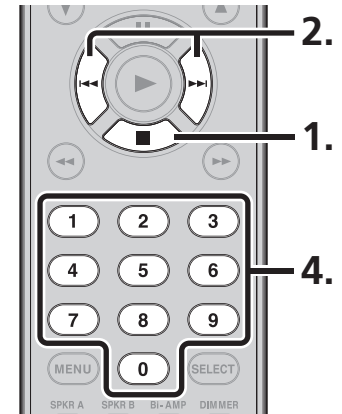
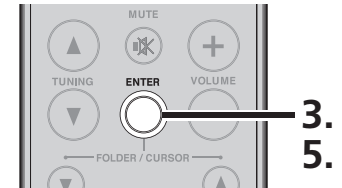
2. リモコンの⏮/⏭ボタンまたは数字ボタンで削除したいプログラム番号を選択します。

3. ■ボタンを押し、指定したプログラム番号を解除します。

- プログラム入力待ち状態で■ボタンを3秒以上押すと、指定したプログラムを全て解除できます。

ご注意

USBプログラムモードのとき、特定のプログラム番号を削除することができません。■ボタンを3秒以上押し、すべてのプログラム番号を削除してください。

プログラム再生に登録した曲を変更する

1. プログラム再生中に■ボタンを押して、曲の再生を停止し、プログラム入力待ち状態にします。

2. リモコンの⏮/⏭ボタンまたは数字ボタンで変更したいプログラム番号を選択します。

CD PROGRAM
P12 14Tr 01:21

応用操作

3. リモコンのENTERボタンを押します。

- このとき、リモコンのENTERボタンを再度押すと、プログラムの修正を解除できます。

4. リモコンの数字ボタンでお好みの曲番を入力します。

5. リモコンのENTERボタンを押し、プログラムの修正を完了します。

CD PROGRAM
P12 10Tr 03:30

ディスプレイの表示切替

音楽CDや音楽MP3/WMA再生時リモコンのTIME/INFOボタンを押して表示の切り替えができます。

音楽CD

- TIME/INFOボタンを押すたびに下記のようにディスプレイの表示内容が替わります。

①曲の演奏経過時間表示

②曲の残り時間

③CDの総演奏時間

④CDの総残り時間

MP3/WMA音楽ファイル

- TIME/INFO ボタンを押すたびに下記のようにディスプレイの表示内容が替わります。

①スクロール画面

MP3 ▶
abcdefghijklmno

②曲の演奏経過時間

③曲の残り時間

④ファイル名

⑤トラック名

⑥アーティスト名

⑦アルバム名

⑧制作年情報

⑨コメント

ご注意

文字情報は英数字と一部の特殊記号（-記号や/記号など）が表示できます。それ以外の文字情報は文字化けします。

MP3 ／ WMA ファイルについて

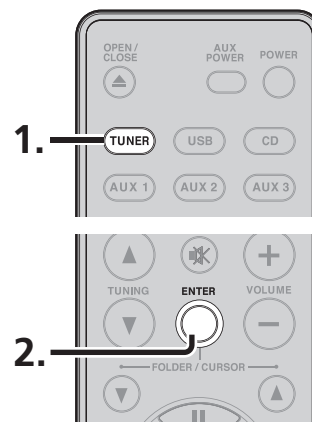
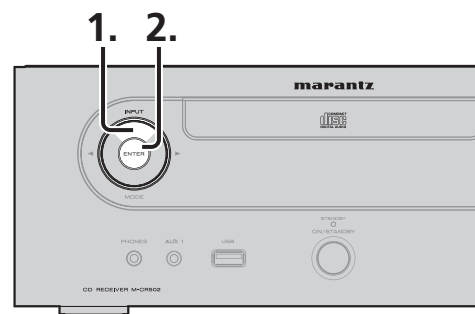
- 本機で対応している規格は"MPEG-1 Audio Layer-3"（サンプリング周波数 fsは32、44.1、48kHz）です。それ以外の"MPEG-2 Audio Layer-3"、"MPEG-2.5Audio Layer-3"およびMP1、MP2などには対応していません。
- 一般にビットレートが高いほど音質が良くなります。
  MP3の対応ビットレートは32〜320 kbps、WMAは192kbps以下です。本機では128kbps以上のビットレートで記録されたMP3/WMAのご使用をおすすめします。
- MP3/WMAファイルには必ず拡張子".MP3"".WMA"を付けてください。".MP3"".WMA"以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。
  （マッキントッシュのパソコンの場合、半角英数大文字30文字以内のファイルネームの最後に拡張子".MP3"を付けてCD-R/RWに記録することにより、MP3ファイルの再生が可能です。）
- プレイリストには対応していません。
- USB再生時
  本機が表示できるファイルおよびフォルダ数はそれぞれ最大255個です。
  本機で再生できないファイルやフォルダ数は含まれません。
- CD再生時
  本機が表示できるファイル数はフォルダ数を含めて最大255個です。
- 本機は30文字までのフォルダ名やファイル名を表示できます。
- MP3を再生した時に表示されるID3タグ情報やファイル名の文字情報は日本語表示に対応していません。英数字をご使用ください。
- 本機は、MP3 ID3-Tagのバージョン1のみに対応しています。
- 可変ビットレートファイルの再生時には、正しく時間表示されないことがあります。
- CD-RやCD-RWに書き込むフォーマットはISO9660モード1またはモード2で書き込みをしてください。また、マルチセッションに対応していますので、追加で書き込みしたデータの再生もできます。
- パケットライトで記録されたMP3/WMAファイルは再生できません。
- 記録したデータの状態によっては曲情報を読み取るのに時間がかかる場合があります。
- 音楽用のフォーマットCD-DAとMP3/WMAファイルが混在したエンハンスドCDやミックスCDは音楽用のフォーマットCD-DAのみ再生します。
- WMA DRM（著作権保護）の再生には対応していません。

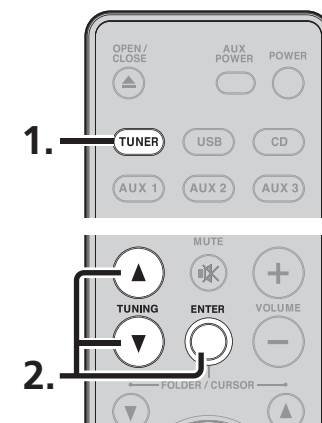
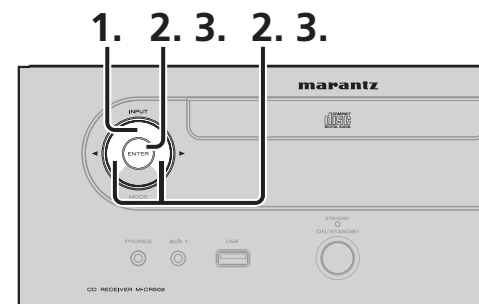
ラジオ放送を聞くための便利な機能

本機は、FM放送局を30局、AM放送局を20局まで記憶（プリセット）できます。
放送局を記憶させる方法は、「自動記憶」と「手動記憶」の2つの方法があります。

ご注意

これらの操作を行うときは、リモコンのTUNERボタンを押し、リモコンをTUNER操作モードにしてください。

放送局の自動記憶（オートプリセット）

1. 本機のINPUTボタンまたはリモコンのTUNERボタンを押して、TUNER AMまたはTUNER FMを選択します。
2. ENTERボタンを3秒以上押します。
   - 低い周波数から自動で受信できる放送局を選び記憶します。

放送局の手動記憶（手動プリセット）

1. 本機のINPUTボタンまたはリモコンのTUNERボタンを押して、TUNER AMまたはTUNER FMを選択します。

2. 本機の◀ / ▶またはリモコンのTUNING ▲/▼ボタンで受信周波数を選択し、ENTERボタンを押します。

```
FM106.95MHz ch01
```

3. 本機の◀ / ▶ ボタンまたはリモコンの数字ボタンで登録する番号を選びENTERボタンを押します。

```
FM106.95MHz ch01
```

ご注意

登録番号を選んでから、4秒以内にENTER ボタンを押してください。4秒以内に押さないと登録番号がキャンセルされます。

登録した放送局を呼び出す

1. 本機またはリモコンの⏮ / ⏭ ボタンで番号を呼び出します。

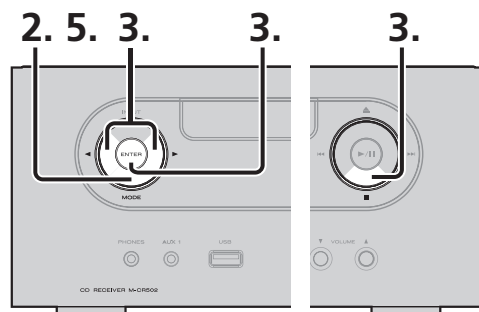
・リモコンの数字ボタンでも呼び出しが出来ます。

登録した番号の消去

1. 消去したい番号を呼び出し、本機またはリモコンの■ボタンを押すと、プリセットした番号を消去できます。

2. プリセットした番号の全てを消去したいときは、本機またはリモコンの■ ボタンを3秒以上押してください。

```
FM106.95MHz
```

登録した放送局に名前をつける

1. 名前をつけたい放送局を呼び出します。

2. 本機のMODEボタンを押します。

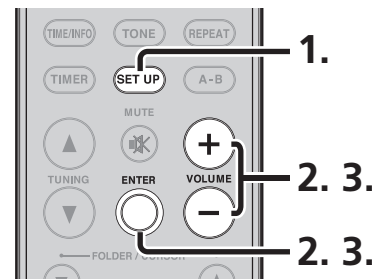
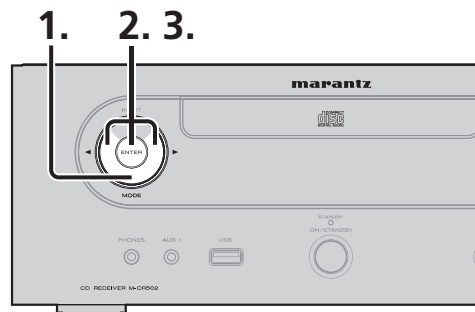
3. ◀/▶ ボタンでアルファベット（A〜Z）と数字（0〜9）の中から選び、ENTER ボタンで決定します。

- スペースを入れるには「Z」と「0」の間の空白を選びます。
- 一つ前に入力した文字を消すには、本機の■ボタンを押します。
- すべての文字を消すには、本機の■ボタンを3秒以上押します。

4. すべての文字の入力が終わるまで、上の1〜3を繰り返します。

5. 本機のMODEボタンを押すと、名前が登録できます。

FM 受信モード

チューナーのバンドにFMが選択されているとき、電波が弱いと、ステレオで受信するのが困難な場合があります。このとき、FM受信モードをモノラルに切り替えてください。ノイズが軽減され聴きやすくなります。

1. 本機のMODEボタンを3秒以上またはリモコンのSET UPボタンを押します。

2. 本機の◀ / ▶ボタンまたはリモコンのVOLUMEボタンで、メニューの中から「FM STEREO/MONO」を選択し、ENTERボタンを押します。

```
FM
STEREO/MONO
```

3. 本機の◀ / ▶ボタンまたはリモコンのVOLUMEボタンで、MONOを選択し、ENTERボタンを押します。

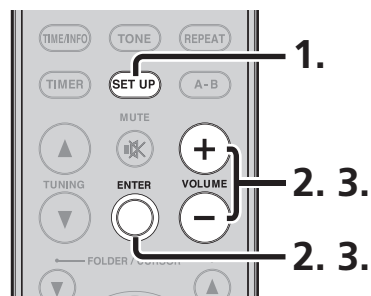
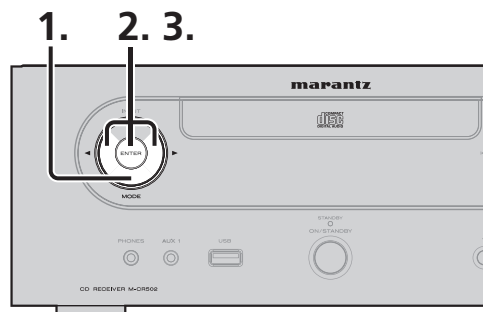
```
MONO
```

- 初期設定はSTEREOになっています。

ご注意

FM受信モードの設定は、チューナーがFMバンドに選択されているときのみ設定することができます。

アンプの特性を設定する（スピーカー A、B）

- スピーカーの設置場所に合わせてアンプの特性を変更することができます。
- 5種類の特性を選択することができます。
- スピーカーAとBで違う特性を選ぶことができます。

1. 本機のMODEボタンを3秒以上またはリモコンのSET UPボタンを押します。

2. 本機の◀/▶ボタンまたはリモコンのVOLUMEボタンで、メニューの中から「SPK A」または「SPK B」を選択し、ENTERボタンを押します。

SPK A

3. 本機の◀/▶ボタンまたはリモコンのVOLUMEボタンで、下記の中からお好みの特性を選択し、ENTERボタンを押します。

- FLAT
- RESPONSE 1
- RESPONSE 2
- RESPONSE 3
- RESPONSE 4

FLAT

- 初期設定はFLATになっています。

特性は以下のようになっています。

- **FLAT**

フラットな特性です。
スピーカーを家具の上やラックの上に直接設置すると、低域成分が多くなります。
低域成分が多いと思われた時、RESPONSE1～4の中からお好みの特性を選択してください。

- **RESPONSE 1**

60Hz以下を-12dB/octで低域をカットしています。

- **RESPONSE 2**

100Hz以下を-12dB/octで低域をカットしています。

- **RESPONSE 3**

60Hz以下を-12dB/octで低域をカットしています。
さらに400Hz付近を3dB上げています。

- **RESPONSE 4**

100Hz以下を-12dB/octで低域をカットしています。
さらに400Hz付近を3dB上げています。

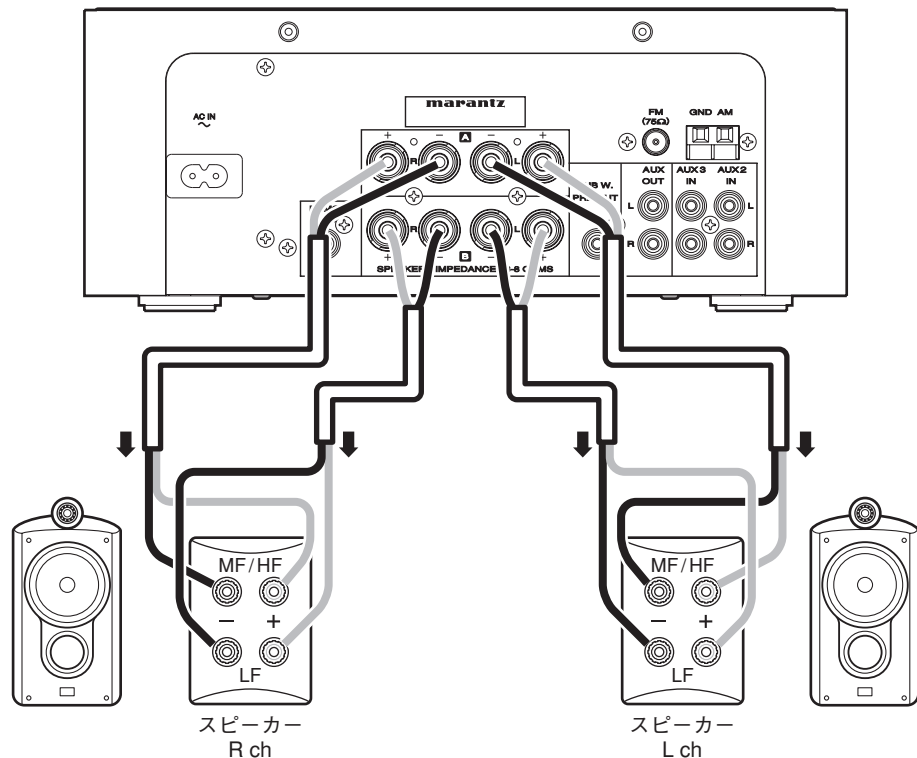
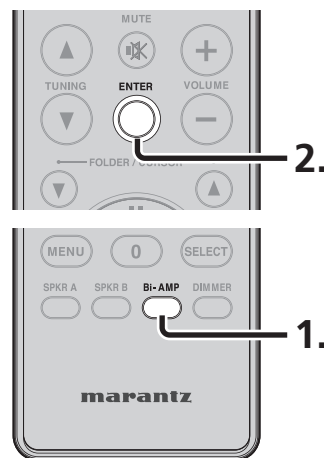
応用操作

バイワイヤリング接続で音楽を聴く

本機とスピーカーシステムをスピーカーコードを2組使って、バイワイヤリング接続します。
接続する前に、スピーカーシステムがバイワイヤリング接続に対応していることをご確認ください。

バイワイヤリング接続とは：
音質を向上させるテクニックの一つで、低音用と中高音用の端子に別々のスピーカーコードを接続します。これにより、低音用スピーカーユニットで発生した逆起電力による中高音への干渉をなくすことができます。

ご注意

バイワイヤリング接続で音楽を聴くときは、スピーカーAとBのフィルターは同じフィルターを設定してください。（26ページ「アンプの特性を設定する」参照）

ご注意

スピーカーのLFとMF/HFを接続してあるショート板は取り外してご使用ください。
取り外さないでご使用になると火災や故障の原因となります。

スピーカー出力を設定する

- 本機のスピーカー出力をBI-AMPに設定します。
- アンプの最大出力が50W/チャンネルから25W/チャンネルになります。
- SPKR AまたはSPKR Bに設定するとスピーカー出力はBI-AMPモードから解除されます。
- 初期設定はSPKR Aです。

ご注意

スピーカーの設定は音量を十分小さくしてから行なってください。

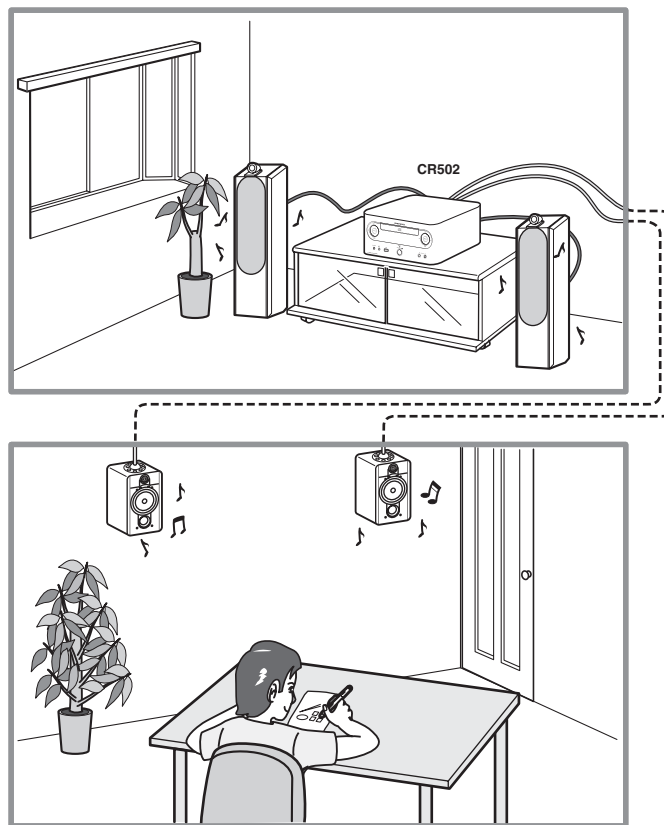
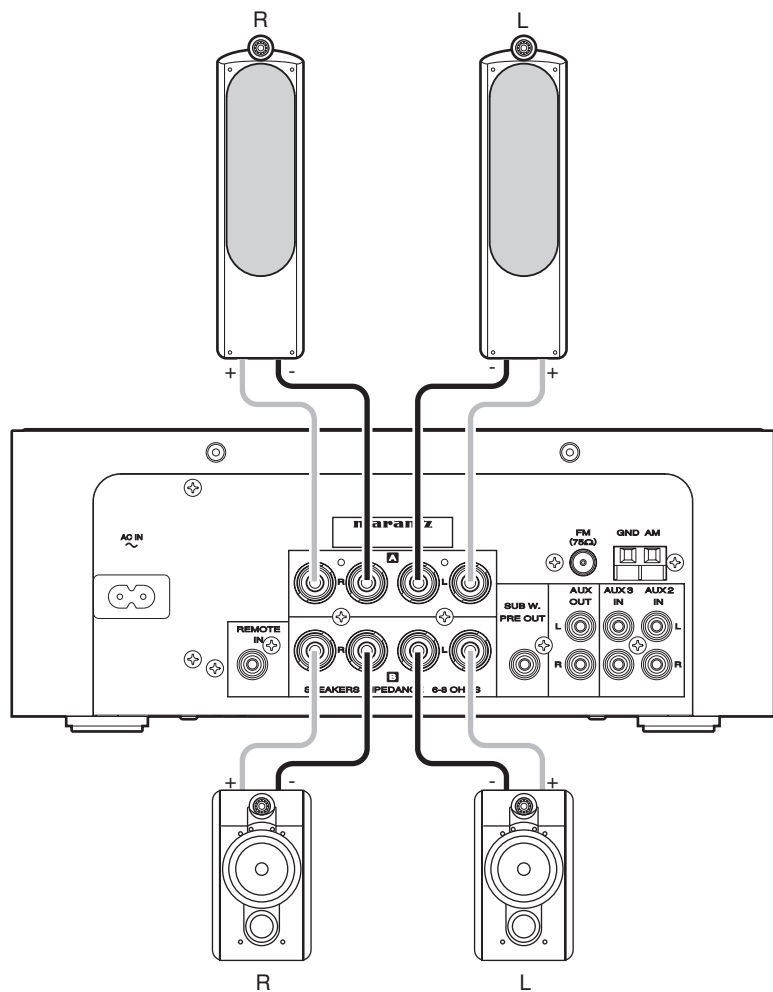
1. リモコンのBI-AMPボタンを押します。

ご注意

リモコンのBI-AMPボタンを押してから3秒以上経過すると、通常表示へ戻ります。

2. ENTERボタンを押します。
表示は点滅から点灯に変わります。

マルチドライブ接続をして 2 ヶ所で音楽を聴く

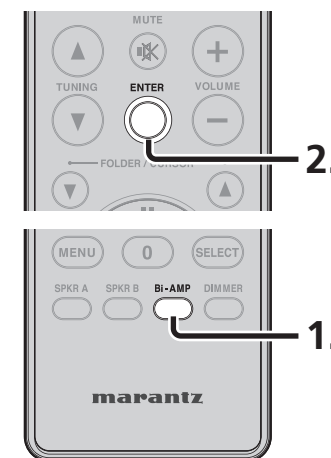
本機とスピーカーシステムを2組使って別室で音楽を聴くことができます。

スピーカー出力を設定する

- 本機のスピーカー出力をBI-AMPに設定します。
- アンプの最大出力が50W/チャンネルから25W/チャンネルになります。
- SPKR AまたはSPKR Bに設定するとスピーカー出力はBI-AMPモードから解除されます。
- 初期設定はSPKR Aです。

ご注意

スピーカーの設定は音量を十分小さくしてから行なってください。

1. リモコンのBI-AMPボタンを押します。

ご注意

リモコンのBI-AMPボタンを押してから3秒以上経過すると、通常表示へ戻ります。

2. ENTERボタンを押します。
表示は点滅から点灯に変わります。

応用操作

スピーカー A と B の音量バランス調整

スピーカーAは固定でスピーカーB の音量を－6dB～＋6dB の範囲で調整できます。

1. 本機MODE ボタンを約3秒以上またはリモコンのSET UP ボタンを押します。
2. 本機の◀/▶ボタンまたはリモコンのVOLUMEボタンで、メニューの中から「VOLUME OFFSET」を選択し、ENTERボタンを押します。

VOLUME OFFSET

3. 本機の◀/▶ボタンまたはリモコンのVOLUMEボタンで、スピーカーBの音量を調整し、ENTERボタンを押します。

LEVEL -2

リセットする

- 各種設定を初期状態に戻すことができます。
- リセットは本機で設定します。

1. 本機のINPUTボタンまたはリモコンのAUX 1～3ボタンで入力ソースをAUX 1～3のいずれかにします。
2. MODEボタンを押しながら、ON/STANDBYボタンを押します。
この時、表示部に”RESET?”が点滅します。

RESET?

3. ENTERボタンで決定します。
表示部に”MEMORY CLEAR”が1秒間表示した後、待機状態になり、リセットを完了します。

MEMORY CLEAR

ご注意

MODEボタンを3秒以上押すと、本機はSET UPモードになります。リセットをおこなうときは、MODEボタンを押してから3秒以内にON/STANDBYボタンを押してください。

初期状態

INPUT	CD
ボリューム	0
Dimmer	OFF
CLOCK MODE	OFF
スピーカー設定	A
チューナープリセットチャンネル	未設定
TREBLE	0
BASS	0
BALANCE	CENTER
時計	未設定
ウェイクアップタイマー	未設定
スリープタイマー	未設定
SPK A	FLAT
SPK B	FLAT
VOLUME OFFSET	0
FM STEREO/MONO	STEREO
IR	ENABLE

困ったときは

困ったときは、下記の項目をチェックをしてください。下記の項目をチェックして直らない場合は、お買い上げになった販売店、お近くの株式会社マランツコンシューマーマーケティング、または当社サービスセンターにご相談ください。

全般

症状	原因	処置
電源が入らない。または、電源を入れてもすぐに待機状態になる。	電源コードが完全に差し込まれていない。	電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。（10ページ参照）
	スピーカーケーブルが本機と接触している。または、ケーブルがショートしている。	スピーカーケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。（7ページ参照）
片側のチャンネルの音が小さい。	ケーブルが正しく接続されていない。	すべてのケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。
	左右のバランスが崩れている。	左右のバランスを調整してみる（16ページ参照）をご覧ください。
本機が正常に動作しない。	落雷や静電気により、外部から強い電気ショックを受けた。	本機の電源コードを抜き、3分後に電源コードをコンセントに接続してください。
周囲に設置してある他の機器から雑音が出る。	本機と他の機器との位置が近い。	本機から離して設置してください。
本機から雑音が出る。	パーソナルコンピューターやデジタル機器と同じコンセントに接続している。	他のコンセントに接続するか、市販の電源フィルターを本機に接続してください。
設定した時刻が消えた。	電源コードが抜けていたり、停電などで電源供給が1分以上遮断されていた。	電源供給が1分以上遮断されると、時刻設定が初期化されます。再度、時刻を設定してください。（15ページ参照）

リモコン操作

症状	原因	処置
リモコンで本機の操作が出来ない。	リモコンの動作範囲から外れている。	リモコンの動作範囲（3ページ参照）を参照して、動作範囲でご使用ください。
	本機の受光部に直射日光や照明があたっている。	本機に日光や照明があたらないように本機の向きを変えてください。
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	IR=DISABLEになっている	IR=ENABLEにしてください。（17ページ参照）

CDやUSB操作

症状	原因	処置
音楽CDが再生できない。	ディスクの裏表が逆さまに入っている。	ディスクレーベル面を上にしてから再生してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクの取り扱い（33ページ参照）をご覧ください。
	ディスクが反っていたり、ディスクにキズが付いている。	新しいディスクで再生してみてください。
CD-R、CD-RWが再生出来ない。	ディスクのファイナライズがされていない。	ディスクに書き込む為のソフトウェアを使って、ファイナライズしてください。
	書き込んだディスク自体に問題がある。	他のディスクメーカーのディスクを使用してみてください。
USBメモリーでMP3やWMAが再生出来ない。	拡張子がmp3またはWMAになっていない。	拡張子を変更して、再度USBメモリーに書き込みしてください。
	圧縮変換したフォーマットがMP3またはWMAになっていない。	MP3またはWMAに変換してください。
	USBメモリーが壊れている。	USBメモリーを交換してください。
CDを再生しても、スピーカーから音が出ない。	音量が上がっていない。	適切な音量まで上げてください。
	ミュートしている。	リモコンのMUTEボタンを押してください。
	入力ソースがCDになっていない。	リモコンのCDボタンを押してください。
	スピーカーケーブルが接続されていない。	スピーカーケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。（7ページ参照）
	ヘッドホンが接続されている。	音量を下げてからヘッドホンを外してください。
	CDが一時停止状態になっている。	本機の▶/❚❚ボタンを押してください。

困ったときは

症状	原因	処置
CD再生中に音飛びがする。	ディスクが反っていたり、ディスクにキズが付いている。	新しいディスクで再生してみてください。
	振動や衝撃の影響がある場所に本機を設置している。	安定した場所に本機を設置してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクの取り扱い（30ページ参照）をご覧ください。
	コピーコントロールCDを使用している。	コピーコントロールCDの再生は保証していません。正規のCDをお使いください。

ラジオの操作

症状	原因	処置
プリセット選局が出来ない。	本機のプリセット情報が消去された。	放送局を再度登録してください。
ＦＭステレオ放送で聞くと雑音が多くなる。	選局している放送局の電波が弱い、または、お住まいの地域の受信感度が良くない。	1. 簡易アンテナの向きを変えてください。 2. FMステレオをFMモノラルにしてみる（22ページ参照）を参照して、FMモノラルにしてみてください。 3. FMアンテナを市販の外部アンテナに変更してください。
ＦＭの放送局を自動登録できない。	選局している放送局の電波が弱い、または、お住まいの地域の受信感度が良くない。	1. 簡易アンテナの向きを変えください。 2. FMステレオをFMモノラルにしてみる（22ページ参照）を参照して、FMモノラルにしてみてください。 3. FMアンテナを市販の外部アンテナに変更してください。
ＡＭの放送局を自動登録できない。	ＡＭループアンテナが正しく接続されていない。	ループアンテナを正しく接続してください。
	ＡＭ放送局の電波が弱い。	放送局を手動登録する（21ページ参照）を参照してください。

外部機器の操作

症状	原因	処置
外部入力（AUX1～AUX3）の音が出ない。	外部機器との接続が間違っている。	外部機器を接続する（9ページ参照）をご覧ください。
	外部機器が再生状態になっていない。	外部機器のマニュアルに従って、再生してください。
	入力ソースが違っている。	入力ソースを確認してください。
	外部機器の音量が下がっている。	外部機器の音量を上げてください。
	ヘッドホン端子とAUX1端子を差し違えている。	差し込んでいる端子を確認してください。
外部機器から雑音が出る。	外部機器との接続でケーブルがしっかりと接続されていない。	ケーブル接続を確認してください。

その他

仕様・外観寸法図

CD プレーヤー部

オーディオ性能
S/N比（1kHz）............ 100 dB以上
ダイナミックレンジ（1kHz）............ 100 dB以上
全高調波歪率 .... 0.01 %以下

オーディオアンプ部

定格出力（1kHz, 全高調波歪率 0.1 %, 8 Ω） ....40 W + 40 W
実用最大出力（1kHz, 全高調波歪率 10 %, 8 Ω） ....50 W + 50 W
入力感度/インピーダンス
AUX1............110 mV/24 kΩ
AUX2、AUX3............200 mV/32 kΩ
周波数特性（5 W, 8 Ω）
AUX入力............ 5 Hz ～ 20 kHz（±3 dB）
全高調波歪率（1 kHz, 5 W, 8 Ω）
AUX入力............0.05 %
S/N比（10 W, 8 Ω, IHF-A）
AUX入力............86 dB

チューナー部

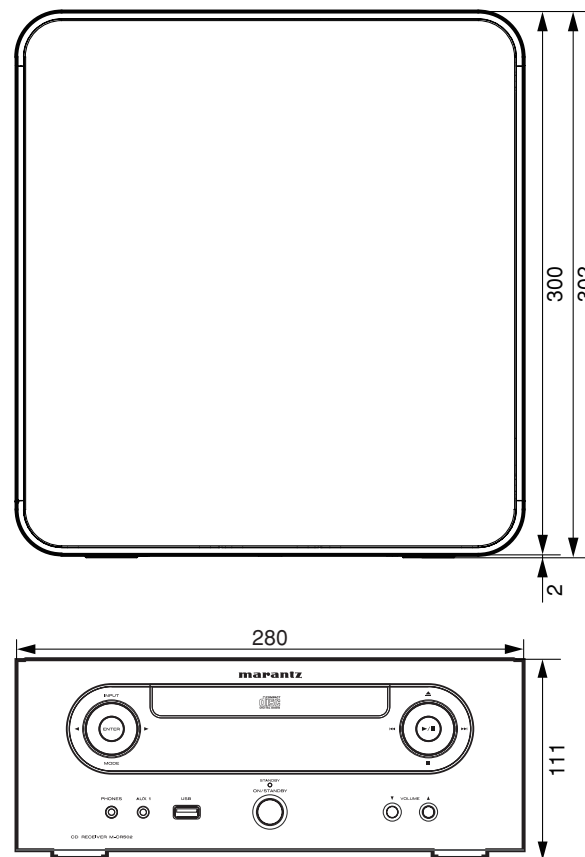
FMチューナー
受信周波数範囲............76.0 ～ 108.0 MHz
S/N比（モノラル）............65 dB
感度（S/N 30 dB）............6 dBμV（IHF）
AMチューナー
受信周波数範囲............522 ～ 1629 kHz
S/N比............45 dB
感度（S/N 20 dB）............55 dBμV / m

電源部

電源電圧/周波数............AC 100V、50/60 Hz
消費電力 ....45 W
待機時消費電力............0.4 W以下

その他

外形寸法（幅×高さ×奥行き） ....280×111×302 mm
重さ............4.2 kg

外観寸法図（単位：mm）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

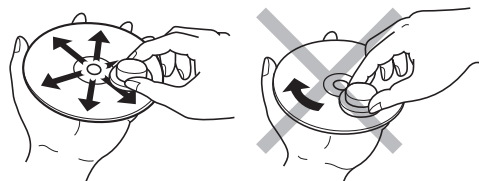
CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

その他

ディスクの取り扱い

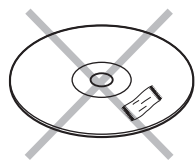
ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

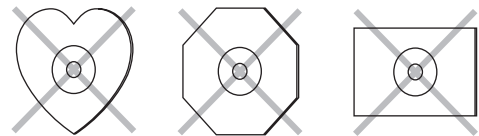
ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面をふく時は必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。

放射状方向にふいてください。

円周方向にはふかないでください。

ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

特殊な形のディスクは使用しないでください。

ハート型、八角形、名刺型など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となることがあります。

ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などかかるおそれのある場所

ディスクはディスク用ケースに入れて正しく保管しましょう。

再生できるディスク

本機では、下表のディスクが再生できます。
下表以外のディスクは再生しないでください。

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	ディスクの大きさ
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	12cm／8cm盤
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc Recordable	12cm／8cm盤
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable / COMPACT disc ReWritable	12cm／8cm盤

ご注意

- CD-R／CD-RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 8cmアダプター（音楽CD用）は使わないでください。
- DTS-CDはノイズを出しますので使用しないでください。

コピーコントロールCD（コピーガード付CD）について

コピーコントロールCD（コピーガード付CD）は、現在のCD規格に準拠していない特殊なディスクであり、当社としましては、お客様のCD再生機器による再生の状態を保証致しかねます。
通常CDを用いての再生時には支障なく再生ができ、これらの特殊ディスク再生時においてのみ支障をきたす場合につきましてはお客様のCD再生機器の不具合ではございません。
なお、コピーコントロールCDに関する詳細につきましてはコピーコントロールCDの発売元にお問い合わせ戴きますようお願いいたします。

お手入れ

- セットが汚れた時は柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」致します。
3. 保証期間経過後の修理について。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“困ったときは”をご参照の上よくお調べください。それでも直らない時は、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1）品名　CDレシーバー
2）品番　M-CR502
3）シリアルナンバー（製造番号）
4）お買い上げ日　年　月　日
5）故障の状況（できるだけ具体的に）
6）ご住所
7）お名前
8）電話番号

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30ー12：00　13：00ー17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社マランツコンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.jp

Printed in China

11/2009　541110098115M　mzh-d